

## 4 観察方法（例：高さによる気圧の違い）

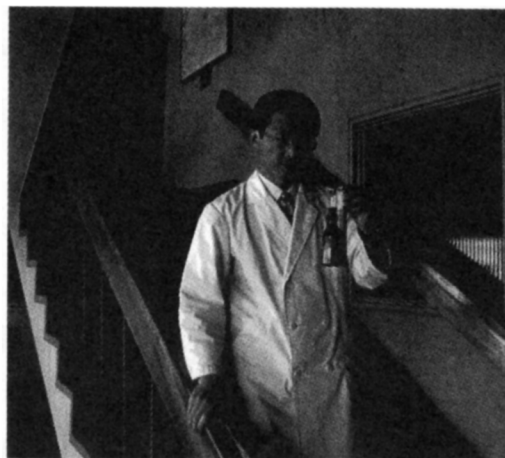
(1) 簡易気圧変化測定器を製作し、木片を固定する。

装置の持ち運びは、ガラスびんを暖めないように、木片の上端を持つ。

(2) 校舎などの上(下)の階で、簡易気圧変化測定器のピンチコックを閉める。

(3) ガラス管の中の色水が動かないことを確認してから、色水の位置を目盛で確認する。

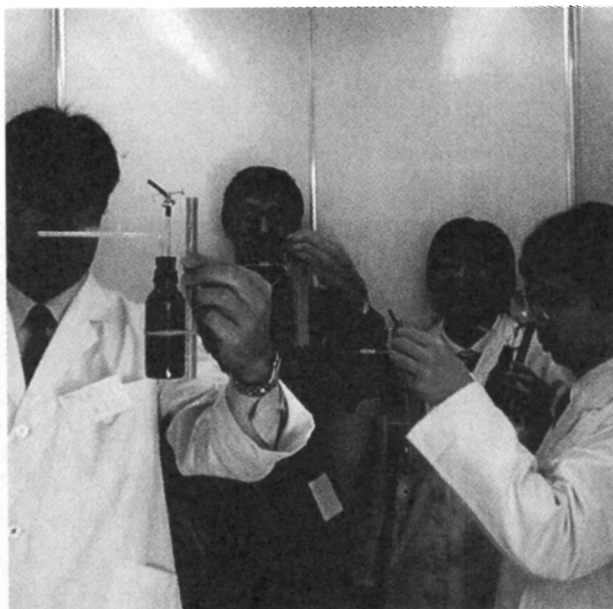
(4) 静かに下(上)の階へ移動し、ガラス管の中の色水の動きが止まってから、色水の位置を目盛で確認する。



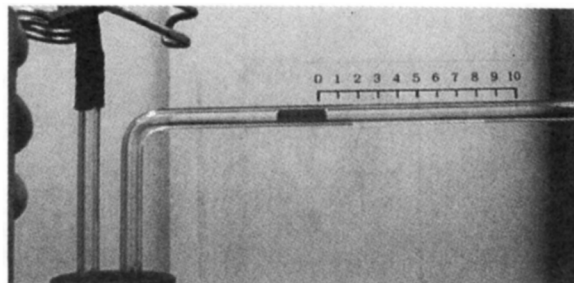
階段を使った観察

(5) 上(下)の階での色水の位置と、下(上)の階での色水の位置を比較し、高さによる気圧の違いを比べる。

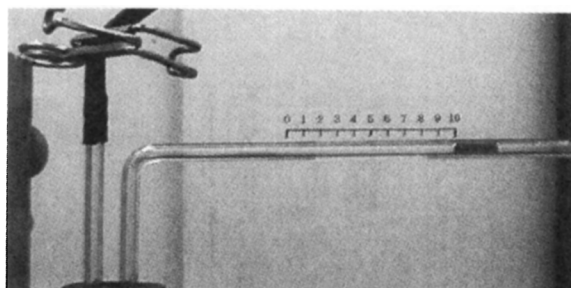
※ 感度を変えた複数の簡易気圧変化測定器や、市販の気圧計を用いて、同様の観察を行って、比較するのもよい。



エレベーターを使った観察



1階での色水の位置



5階での色水の位置